

子ども県議会に向けて

～リハーサル事前準備 活動報告～

2024年12月8日(日)

滋賀県

子ども県議会

事務局発行 / No. 11



12月25日の「子ども県議会」に向けて、事前準備が行われました。

今年の子どもたちの主体的な取り組みと成長が感じられる様子をお伝えします。

自分たちで決める力を発揮

今年の議長選出では、どのような方法で議長を選出するか、子どもたちが相談しました。11人の立候補者が集まり、次のようなプロセスで進められました。

①話し合いで5人に絞り込む

候補者同士が互いに意見を交換しながら、自分たちで選びました。

②子ども議員の投票で議長を決定

子どもたちが民主的に選び合い、議長が決まりました。



選考過程では、中学生や小学生の違いにとらわれず、候補者の姿勢や読み方で判断が行われ、決定後は「頑張れよ」と励まし合う姿も見られました。勇気を出して立候補し、自分の意見を堂々と述べた候補者たち、そして真剣に話し合いに参加した全員が、1年間で築いた信頼関係を感じさせてくれました。



▲昨年議長を経験した子が、今年議長になった子にアドバイスをしていました。

本番に向けて

本番に向けて、ご家庭でも提案文の練習をお手伝いいただければと思います。12月25日には、滋賀県の子どもも議員として、堂々と自信を持って発表する姿を楽しみにしています。

子どもたちの主体的な準備



子どもたちは、「子ども宣言」の読み手や提案文の役割を、自分たちで話し合いながら分担しました。昨年から始まった「自分たちで決める」取り組みが、今年さらに発展し、自主性と協力が感じられる姿が印象的でした。

午後の練習では、議会での礼儀作法やお辞儀の仕方、提案文の読み方などを丁寧に確認しました。緊張の中でも一生懸命取り組む子どもたちの姿があり、サポーターやスタッフのフィードバックを受けながら、声の揃え方や拳手の仕方を工夫しつつ成長していく様子が見られました。